

第1回 検討委員会における主な意見

項目	内容
臨時情報発表後の 県の対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時情報を解除する議論が必要
	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時情報が解除されない可能性があるため、自治体独自で解除の判断を検討する必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時情報が解除されない状態で、一時帰宅などを認めるレベルも考える必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース1の場合、様々な情報が氾濫しており、臨時情報が埋没する恐れがある。情報の出し方や受け止め方を検討する必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアとの連携が必要
	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時情報が出ると、トレードオフになるような状況が考えられるので、事業者や個人がそれぞれ考えてもらえるよう様々な事例を用意する必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時情報について一般の方が理解できるように、徳島ローカルのストーリーを考える必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース2の場合、不確実な情報の中で何ができるか、各地域、主体で手順書を作成、議論する事が必要
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関は、3日も止めることは不可能。その他職種によっても活動を止めることは難しいのでは
	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムラインの考え方を導入する
臨時情報啓発等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時情報に対する理解と社会的合意形成を図る事が必要
	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時情報に対する理解をしてもらうための、啓発や学びを行う事が必要
	<ul style="list-style-type: none"> ・空振りが続くと、臨時情報への信用がなくなるため対策が必要
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識を高め、土地利用を考えるとところまで持って行く必要がある
アンケート について	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフの臨時情報をどの程度知っているかを確認すること
ワークショップ について	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区だけではなく、様々な組織でワークショップを行って対応を検討してもらいたい
	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区は、海陽町だけではなく条件の異なる場所でも実施してはどうか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時情報が出た際には、他の地域でも被害が発生し、広域的な支援が受けられない可能性があることを想定しておく